

授業科目名	疫学Ⅱ			担当教員	守山 正樹	
開講年次	4 年後期	セメスター	8		時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	選択	授業形態	講義・演習		使用教室	
授業の目的	疫学Ⅰの基本的な概念と方法を踏まえ、保健師が対象とする健康問題の原因追究のアプローチを理解する。					
到達目標	1. 疫学の概念と方法を多様な課題に適用して理解できる。 2. 疫学研究の成果を批判的に吟味でき、成果を地域や集団に応用して考えられる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目では2年次の統計学・保健統計学Ⅰ・疫学Ⅰを踏まえて、疫学の方法論を地域集団に適用することを学ぶ。国内外の幅広い領域での、看護・保健活動の主体的かつ創造的な実践を可能にする基本的能力、特に〈問題解決力〉と〈看護の専門性を探究する力〉を強化する。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
				◎	○	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	相関関係と因果関係のまとめ	講義・演習	(復習) 相関関係と因果関係の実例を考える。		60 分	守山
2	スクリーニングの考え方と計算	講義・演習	(復習) 生活習慣病を例にスクリーニングの実例を考える。		60 分	守山
3	疫学研究方法のまとめと計算	講義・演習	(復習) 症例対照研究とコホート研究につき、実例を考える。		60 分	守山
4	標準化の考え方、年齢調整死亡率と標準化死亡比	講義・演習	(復習) 関心のある市町を選び、死亡率と死亡比を計算してみる。		60 分	守山
5	保健統計と地域診断のまとめ	講義・演習	(復習) 関心のある市町につき、保健統計に基づいて地域診断してみる。		60 分	守山
6	疫学のエビデンスを看護に活かす	講義・演習	(復習) 直近の実習で経験した事例を疫学的エビデンスの視点で振り返る。		60 分	守山
7	レポートの概要発表1	講義・演習 (発表)	(復習) レポートに学習内容が反映されているかを点検・修正する。		60 分	守山
8	レポートの概要発表2、フィードバック	講義・演習 (発表)	(復習) 他の人のレポートの概要を総括し、レポート内容を活かした今後の看護者としての活動を考える。		60 分	守山

先行履修科目	統計学、保健医療福祉行政論、疫学 I
テキスト	牧本清子 他：標準保健師講座・別巻 2 疫学・保健統計学 第 3 版，医学書院，2018.
参考文献	・疫学マイクロレクチャー http://epidemiology-a.blogspot.com/ ・疫学応用マイクロレクチャー http://epidemiology-b.blogspot.com/ ・厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊，国民衛生の動向 2018/2019，厚生労働統計協会，2018.
評価方法	授業への参加度 30%、レポート 70%
教員等の実務経験	国内外で、疫学の手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして講義や演習を行います。
メッセージ	疫学は看護職者が地域で保健活動するときの方法論です。保健師国家試験に合格し、保健師として働くためにも、この方法論をしっかりと身につけてください。